



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社  
コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 真哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	33,920	△16.9	2,500	△24.2	2,113	△38.5	1,619	△28.8
28年3月期第1四半期	40,840	△2.7	3,297	69.2	3,435	96.3	2,273	34.5

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 154百万円 (△95.0%) 28年3月期第1四半期 3,067百万円 (64.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	10.05	—
28年3月期第1四半期	14.10	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	172,685	112,326	64.6
28年3月期	179,898	113,140	62.4

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 111,521百万円 28年3月期 112,307百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において9月30日(第2四半期末日)および3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご参照ください。)

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	69,000	△12.5	5,400	△12.9	5,300	△14.4	3,500	△11.2	21.71
通期	142,000	△4.8	12,400	1.7	12,300	6.6	8,200	10.6	50.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	167,124,036 株	28年3月期	167,124,036 株
29年3月期1Q	5,925,115 株	28年3月期	5,922,766 株
29年3月期1Q	161,200,642 株	28年3月期1Q	161,249,948 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

当期の配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であるため、現時点では具体的な金額は未定であります。配当予想額につきましては、今後の事業環境を見極めつつ検討を行い、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

## 【添付資料】

## (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
参考資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（平成28年4月1日～平成28年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に足踏みがみられたものの、緩やかな回復基調が続きました。一方、景気の先行きにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念、円高・株安の進行や英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による影響への懸念などから不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、主要な向け先である自動車業界、産業機械業界における在庫調整はほぼ完了したとみられるものの、鋼板・鋼帯を除く特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期に比べて低い水準で推移しました。

このような中、当社グループの当第1四半期の売上高は、軸受鋼などの販売数量が前年同期に比べて減少したことや鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比69億20百万円減の339億20百万円となりました。経常利益につきましては、原燃料価格が低下し、またコストダウンの実施にも注力いたしましたが、販売数量の減少、鉄スクラップ購入価格の上昇と鉄スクラップサーチャージ制度適用との間にタイムラグが生じていることによる影響、株安に伴う退職給付費用の増等による固定費の増加や円高による為替差損の計上などにより、前年同期比13億22百万円減の21億13百万円となり、ROS（売上高経常利益率）は6.2%（前年同期は8.4%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6億53百万円減の16億19百万円となりました。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

当第1四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べて減少したことや鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比63億10百万円減の304億25百万円となりました。営業利益は、原燃料価格が低下し、またコストダウンの実施にも注力いたしましたが、販売数量の減少、鉄スクラップ購入と鉄スクラップサーチャージ適用時期とのタイムラグ影響や固定費の増加などにより、前年同期比2億88百万円減の20億29百万円となりました。

#### 特殊材事業

当第1四半期の売上高は、電子部品分野の需要低迷やプラント需要の低迷などにより、販売数量が減少したことや円高に伴うドル建て売上に係る円手取り額の減少などにより、前年同期比6億26百万円減の14億41百万円となりました。営業利益は、販売数量の減少などにより、前年同期比2億26百万円減の1億91百万円となりました。

#### 素形材事業

当第1四半期の売上高は、鉄スクラップサーチャージ制度の適用に伴う販売価格の低下などにより、前年同期比4億90百万円減の37億50百万円となりました。営業利益は、中国子会社における為替変動に伴う素材費の増加、賃金アップなどによる人件費の増加やタイ・メキシコ子会社における立上げ費用の増加などにより、前年同期比2億52百万円減の1億93百万円となりました。

その他
-----

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第1四半期の売上高は前年同期比43百万円増の3億15百万円、営業損失は前年同期比0百万円減の1百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産残高は、現金及び預金、たな卸資産や投資有価証券の減少などにより、前期末比72億12百万円減の1,726億85百万円となりました。

負債残高は、未払法人税等、借入金、未払金や賞与引当金の減少などにより、前期末比63億99百万円減の603億59百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金は増加したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少などにより、前期末比8億13百万円減の1,123億26百万円となりました。

この結果、当第1四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.15（前期末は0.13）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、わが国の景気が緩やかな回復を続けていくことが期待される一方で、新興国経済の減速懸念、円高・株安の進行や英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による影響への懸念、特殊鋼業界における国際競争の激化などもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定的かつグローバルに供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組んでまいります。

なお、当第1四半期の経常利益21億13百万円は、平成28年4月27日公表の平成29年3月期第2四半期累計期間の予想値53億円に対して約40%の進捗となっておりますが、第2四半期以降、販売数量の増加や原油安に伴うエネルギーコストの低下が見込まれることなどから、第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、公表させていただいた数値を据えおくことといたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,179	18,306
受取手形及び売掛金	40,531	40,492
電子記録債権	3,196	3,352
商品及び製品	8,590	8,261
仕掛品	17,532	16,255
原材料及び貯蔵品	11,506	11,987
その他	2,608	2,095
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	106,134	100,743
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	36,151	35,706
その他(純額)	24,034	23,855
有形固定資産合計	60,186	59,561
無形固定資産	1,178	1,190
投資その他の資産	12,399	11,190
固定資産合計	73,764	71,942
資産合計	179,898	172,685
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,712	11,129
短期借入金	28,708	27,238
未払法人税等	2,205	153
賞与引当金	2,118	1,094
役員賞与引当金	114	29
その他	12,500	11,507
流動負債合計	57,359	51,153
固定負債		
長期借入金	7,789	7,789
役員退職慰労引当金	52	46
退職給付に係る負債	591	609
その他	965	760
固定負債合計	9,398	9,205
負債合計	66,758	60,359

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,182	20,182
資本剰余金	22,597	22,597
利益剰余金	69,491	70,143
自己株式	△1,841	△1,842
株主資本合計	110,430	111,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,677	803
繰延ヘッジ損益	2	△53
為替換算調整勘定	1,491	881
退職給付に係る調整累計額	△1,294	△1,191
その他の包括利益累計額合計	1,877	439
非支配株主持分	832	805
純資産合計	113,140	112,326
負債純資産合計	179,898	172,685

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	40,840	33,920
売上原価	34,324	27,893
売上総利益	6,516	6,026
販売費及び一般管理費	3,218	3,526
営業利益	3,297	2,500
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	102	95
受取補償金	0	40
補助金収入	197	—
その他	108	47
営業外収益合計	421	194
営業外費用		
支払利息	100	66
為替差損	—	438
持分法による投資損失	144	51
その他	38	25
営業外費用合計	283	581
経常利益	3,435	2,113
特別利益		
土地売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	10
特別損失合計	8	10
税金等調整前四半期純利益	3,426	2,102
法人税、住民税及び事業税	602	51
法人税等調整額	537	425
法人税等合計	1,139	477
四半期純利益	2,286	1,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,273	1,619

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	2,286	1,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	759	△874
繰延ヘッジ損益	—	△56
為替換算調整勘定	25	△493
退職給付に係る調整額	△25	102
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△149
その他の包括利益合計	780	△1,470
四半期包括利益	3,067	154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,052	181
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△26

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,504	2,068	4,240	40,813	27	40,840	—	40,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,231	—	—	2,231	244	2,475	△2,475	—
計	36,736	2,068	4,240	43,045	271	43,316	△2,475	40,840
セグメント利益 又は損失(△)	2,317	418	446	3,182	△1	3,180	116	3,297

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額116百万円は、棚卸資産の調整額98百万円およびセグメント間取引消去18百万円であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	特殊材	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,712	1,441	3,750	33,904	16	33,920	—	33,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,713	—	—	1,713	298	2,012	△2,012	—
計	30,425	1,441	3,750	35,617	315	35,932	△2,012	33,920
セグメント利益 又は損失(△)	2,029	191	193	2,414	△1	2,412	87	2,500

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。  
 2. セグメント利益又は損失の調整額87百万円は、棚卸資産の調整額79百万円およびセグメント間取引消去7百万円であります。  
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 平成29年3月期 第1四半期決算発表

## 1. 当第1四半期の業績と業績予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第1四半期 (実績)	前第1四半期 (実績)	増減	増減率	業績予想	
					第2四半期 累計期間	通期
売上数量	249	260	△12	△4.4	498	993
売上高	33,920	40,840	△6,920	△16.9	69,000	142,000
営業利益	2,500	3,297	△797	△24.2	5,400	12,400
経常利益	2,113	3,435	△1,322	△38.5	5,300	12,300
(ROS)	(6.2)	(8.4)	(△2.2)		(7.7)	(8.7)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,619	2,273	△653	△28.8	3,500	8,200
設備投資	1,687	929	757	81.5		10,000
減価償却費	2,146	2,234	△87	△3.9		9,000

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	28年3月期				通期	29年3月期
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期		4-6月期
売上数量	260	238	242	248	988	249
売上高	40,840	38,016	35,595	34,695	149,148	33,920
営業利益	3,297	2,904	3,452	2,533	12,188	2,500
経常利益	3,435	2,757	3,401	1,945	11,540	2,113
(ROS)	(8.4)	(7.3)	(9.6)	(5.6)	(7.7)	(6.2)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,273	1,667	2,258	1,217	7,416	1,619

## 2. 当第1四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	42	1. 販売価格・構成	45
2. 変動費のコストダウン	5	2. 営業外損益	5
		3. 販売数量	4
		4. 固定費の増加	4
		5. 連結子会社の利益減	2
計 (A)	47	計 (B)	60
		差引 (A) - (B)	△13